

事業所名

一般社団法人つばさ 佐久山事業所

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

令和6年

9月

27日

法人(事業所)理念	①利用者一人ひとりが持っている生きる力と個性を尊重し、その利用者の成長にあった療育・支援をおこなうことを基本とします。 ②10年後・20年後に人として安定した輝きある人生が歩めるよう、様々な利用者同士の交流や出会いの体験を大切にします。 ③利用者が自信をもって日々成長していく姿が認められるような療育・支援を目指し、長期的な目標を掲げ、継続的な療育・支援に取り組みます。								
支援方針	・活動を繰り返し行い、子どもたちが「できた」と達成感を味わう経験を増やします。 ・一つ一つの行動に対して、丁寧に関わる意識を持ち支援します。(発言、傾聴など) ・一人ひとりの発達段階に合わせて、必要なタイミングで適切な支援を行います。								
営業時間	8時	30分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容									
本人支援	健康・生活	・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作れるように支援します。 ・身辺自立に向けて、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な技能を習得できるように支援します。							
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢を鍛える運動を行い、筋力の維持や強化を図ります。 ・活動を通して、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用できるように支援します。							
	認知・行動	・視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促せるように支援します。 ・活動を通して、時間や数の概念等を学び、習得した技能を認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援します。							
	言語 コミュニケーション	・指差し、身振り、サイン、絵カード等を用いて、意思の伝達ができるように支援します。 ・具体的な事物と言葉の意味を結びつけることにより、言語の習得や自発的な発声ができるように支援します。							
	人間関係 社会性	・遊びを通して、人との交流を持ち、信頼関係を築きながら安心して過ごせるように支援します。 ・活動を通して、人(職員)の動きを模倣することにより、社会性や対人関係を意識して過ごせるように支援します。							
家族支援	・利用者の発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行います。 ・子育てや障害等に関する情報提供を行います。				移行支援		・将来的な移行を見据えて、利用者にとって必要な目標や支援内容を設定して支援します。		
地域支援・地域連携	・外出活動等を通して、地域の方と場所・空間等を共有しながら交流を持つ支援を行います。 ・関係機関(学校、障害福祉サービス事業所、障害児通所支援事業所等)と連携を図り、利用者にとって必要な支援の共有を行います。				職員の質の向上		・苦手なことでも、挑戦する心を持ち、「できた」「できない」に問わず、挑戦したことに対して自分を褒める習慣を身につけられるようにする。(自己肯定感を高める) ・研修や支援の中で得た情報(結果)を積極的に伝え合い、職員全員が同じ気持ちで支援に挑めるようにする。		
主な行事等	外出活動(公園外出、買い物等)/音楽療法 行事や季節に合わせた活動(畑作業、運動会、夏祭り、クリスマス会、卒業生を送る会等) 身辺自立に向けた活動/社会性を養う活動/運動機能の向上に向けた活動/感覚機能の向上に向けた活動								